



挨拶する高木会長

活動に先立ち、まず高木会長は10月25日、恒例の熱田神宮の清掃活動を行った。今年で9年目となる。参加者は代協会員、損保社員、賛助会員などを合わせ、昨年を130名以上上回る約440名である。

愛知県協  
代

### 今年で 9回目

## 熱田神宮 清掃活動に約440名が参加



熱田神宮の周囲を清掃



参道での清掃

続いて、損保会社を代表して東京海上日動・木村岩雄常務執行役員が挨拶。 「この清掃活動を10年近く展開されていることに敬意を表します。熱田神宮は有形無形の文化財を有する愛知県のシンボルの一つでもあります。その

清掃活動は、有意義な時間を過ごしていただきたい。今日の天気のように晴れやかな気持ちでがんばってください。」

午前10時45分ごろ清掃を終えた人たちが次々と集合場所に戻ってきた。全員が集まったところで高木会長が「みなさんの温かい気持ちで熱田神宮がきれいになりました。一生懸命取り組んでいた皆さん、ありがとうございます。保険会社のみならず、我々代協の活動に参加いただきありがとうございます」と閉会の挨拶。

木会長が挨拶。 「今年で9年目となりますが、10年続けて初めて社会に認知されるのではないでしょうか。当代協も地域社会に貢献する職業団体として成長してきています。本日、たくさんお集まりいただいた保険会社のみなさんとともに清掃活動をするので心を通わせていきたいと思います。また、熱田神宮からも感謝の辞が述べられました。このあと、午前9時30分から北コース東門、同西門、南コース、内コースに分かれ、清掃活動が行われた。内コース(参道)では七五三で多くの子ども連れが見られる中を丁寧に清掃。また、外周(北コース・南コース)でも垣根にある枯葉や歩道に落ちているゴミなどを拾い集めた。